

ワクチン接種を管理するシステムの 都道府県調査について【結果概要】

令和3年2月27日

全国知事会 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種特別対策チーム
副チームリーダー（システム担当） 山口県知事 村岡嗣政

ワクチン接種を管理するシステムの都道府県調査

<目的>

- ワクチン接種については、厚生労働省の『**ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）**』、内閣官房の『**ワクチン接種記録システム**』、各自治体が整備する『**予防接種台帳**』や『**接種予約システム**』が稼働する予定。
- ワクチンの円滑な接種に向けては、こうした**複数のシステムの間での情報連携が重要**となることから、**システムに関する課題を洗い出し、調査結果を国への提言等に反映**するとともに、**有意な取組事例の情報を共有**する。

以下、本報告において、各システムは次のとおりの表記とします

- ◆ワクチン接種円滑化システム…V-SYS
- ◆ワクチン接種記録システム…NDB
(ナショナルデータベース)
- ◆予防接種台帳…接種台帳
- ◆接種予約システム…予約システム

<調査項目>

- 1 一体的な制度設計と迅速な情報提供
- 2 システム間の連携と接種履歴の管理
- 3 予防接種台帳（接種台帳）の改修
- 4 接種予約
- 5 マイナンバー法上の整理
- 6 システムの運用に伴う事務負担の軽減対策
- 7 その他

1 一体的な制度設計と迅速な情報提供

【主な意見】

- ✓ 早急に制度やNDBの詳細を決定し、迅速に情報提供を行うこと。
- ✓ 国が整備するシステムの制度設計は、縦割りを排し、関係省庁が連携して一体的に行うこと。
- ✓ 地方への説明・支援の窓口を一元化すること。
- ✓ 医療機関への説明・支援について、国が責任を持って行うこと。
- ✓ ベンダーに対しても、国からNDBの仕様等をしっかり情報共有すること。

2 システム間の連携と接種履歴の管理

【主な意見】

- ✓ **NDBとV-SYSとの相互連携を図るなど、市町村の過度な負担とならない設計とすること。**
- ✓ **国のシステムは、現場の医療機関・医療従事者の過度な負担とならない設計とすること。**
- ✓ **接種記録登録の必要性について、医療機関等に対して国としてしっかり説明し、理解と協力を得ること。**
- ✓ **NDBへのデータ入力に当たり、タブレット端末の配布が予定されているが、接種会場数が大幅に増加しても対応できるよう、十分な数量を確保すること。**

3 予防接種台帳(接種台帳)の改修

【主な意見】

- ✓ **NDBについて、接種台帳の改修ができない市町村のデータ入力に係る負担が軽減されるよう、システム設計を行うとともに、必要な支援を行うこと。**
- ✓ **NDBと接種台帳の入力方法が異なることで現場が混乱しないよう、統一的な入力方法とすること。**
- ✓ **既に接種台帳の改修を進めている市町村において、手戻り等を生じさせないよう配慮すること。**
- ✓ **国の責任において、市町村への全面的なサポートにより、必要な接種台帳の改修を行うこと。**

4 接種予約

【主な意見】

- ✓ **すでに予約システムの開発に着手（委託業者等と契約）している市町村もあると想定されるため、混乱が生じないように、国全体として統一的な整備方針を早急に示すこと。**
- ✓ **市町村に手戻り等負担の増大を生じさせないように、十分に配慮すること。**

5 マイナンバー法上の整理

【主な意見】

- ✓ 国説明会では、個人情報管理は各市町村が行うとの説明があり、他方でNDBは国が提供している。外部からの不正アクセス等でNDBから情報漏洩が発生した場合を想定し、責任の所在を明確化すること。
- ✓ NDBに関し、これまでの三層分離の考え方、情報提供ネットワークシステムや、マイナンバーを直接用いない符号を使って情報連携を行う仕組みとの関係性などについて、国の責任において考え方を整理し、自治体及び国民に分かりやすく説明すること。

6 システムの運用に伴う事務負担の軽減対策

【取組事例】

- ✓ 市町村と毎週情報交換会を開催して懸念等を確認。
- ✓ 近隣町から中核となる市へ職員を派遣し、複数の市町が連携して、運用上の課題の抽出や対策を検討。
- ✓ 医療機関における事務負担の軽減を図るため、市町村が外部委託で代行入力することを検討中。
- ✓ 県と包括連携協定を締結した企業によるワクチン接種記録システムの導入を複数市町村が検討中。

7 その他

【主な意見】

- ✓ NDBに入力するに当たり、人件費等が別途見込まれるが、その経費について財政措置を講じること。
- ✓ NDBについては、接種情報（＝特定個人情報）の流出が起きないように、番号法が義務付けている安全管理措置を徹底すること。
- ✓ V-SYSに関して、医療機関から使用方法に関する問合せが増えており、口頭での説明では理解を得られないことも多いことから、実際の作業動画による説明資料などを作成し、提供すること。
- ✓ 『基本型』接種施設間の配送を可能とするなど、都道府県知事の裁量において、弾力的に対応できる仕組みとし、システムをその仕組みに対応させること。